わたしのまちの健康プロフィール

【大分県中部保健所・由布保健部】

作成日：令和8年4月

1　管内の概要

大分県中部保健所由布保健部

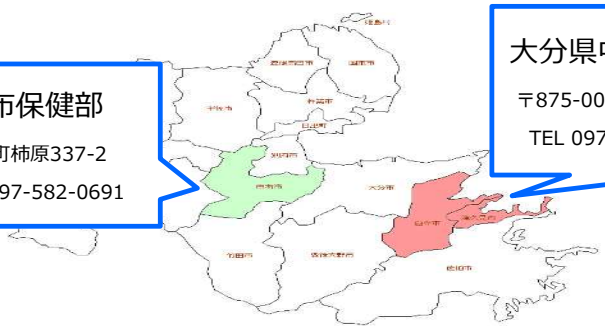
〒879-5421　由布市庄内町柿原337-2

TEL 097-582-0660／FAX 097-582-0691

大分県中部保健所

〒875-0041　臼杵市大字臼杵字洲崎72-34

TEL 0972-62-9171／FAX 0972-62-9173





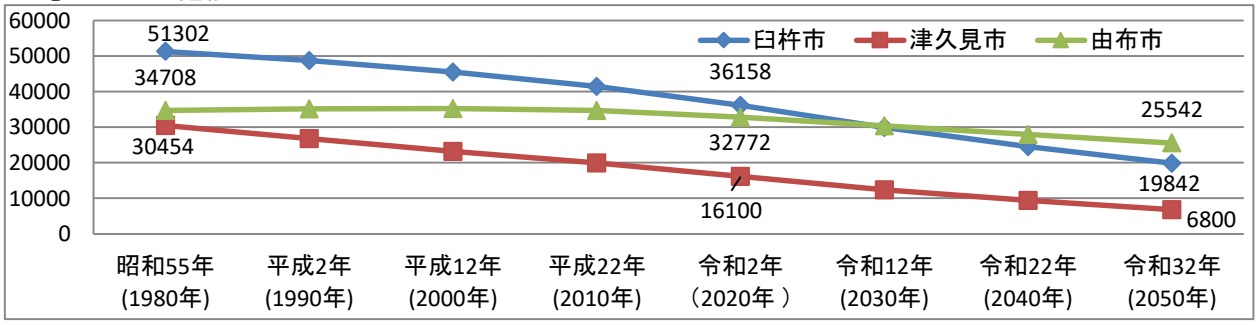
令和7年10月1日現在

	人　口（人）			世帯数	高齢化率	面積 (㎢)	人口密度 (人／㎢)
	総　数	男	女				
大　分　県	1,074,257	512,528	561,729	500,112	34.6	6,340.62	169.4
管　　内	78,868	37,230	41,638	34,894	40.2	690.06	114.3
臼　杵　市	32,726	15,349	17,377	14,389	43.4	291.26	112.4
津久見市	13,919	6,562	7,357	6,446	48.0	79.48	175.1
由　布　市	32,223	15,319	16,904	14,059	33.6	319.32	100.9

注　：管内人口の総数には、年齢不詳の者を含む。高齢化率の分母は、年齢不詳を除く。
資料：人口・世帯数は県統計調査課「大分県の人口推計」、面積は国土地理院「令和7年全国都道府県市区町村別面積調」

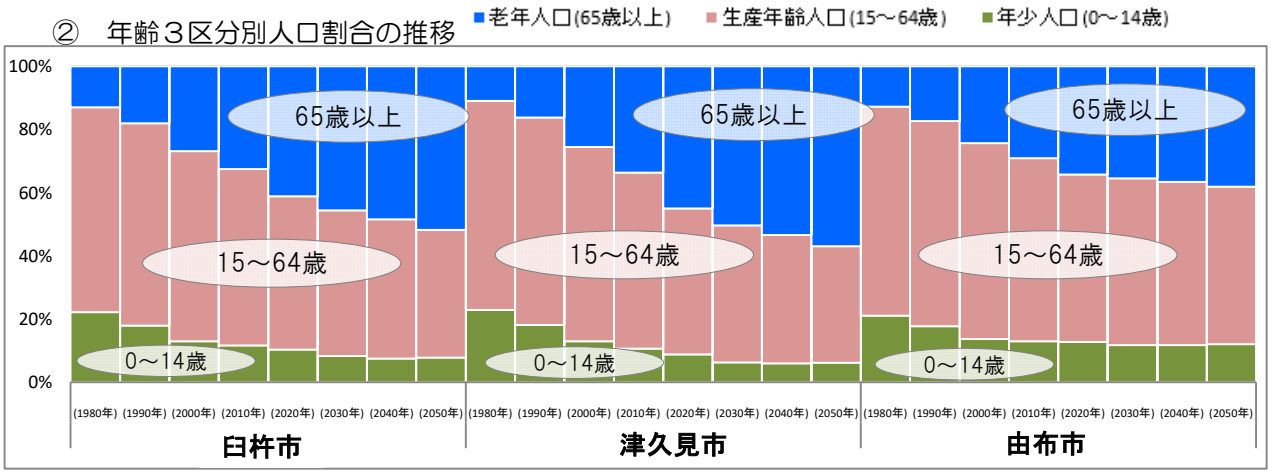
（1）人口

①　人口の推移



注　：昭和55年～平成12年の「臼杵市」の人口は、「旧臼杵市」と「旧野津町」を合算したもの
資料：昭和55年～令和2年は、総務省統計局「国勢調査報告」
　　2030年～2050年は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」

②　年齢３区分別人口割合の推移



年齢3区分の人口割合は、３市とも年少（子ども）人口割合、生産年齢（働く世代）人口割合は低下し、老年（高齢者）人口割合が上昇します。年齢３区分別の人口増減率では、令和2年（2020年）以降、全年齢区分で減少に転じており、人口は年々減少すると見込まれています。

2　人口動態

（１）　出生、死亡の状況

令和6年

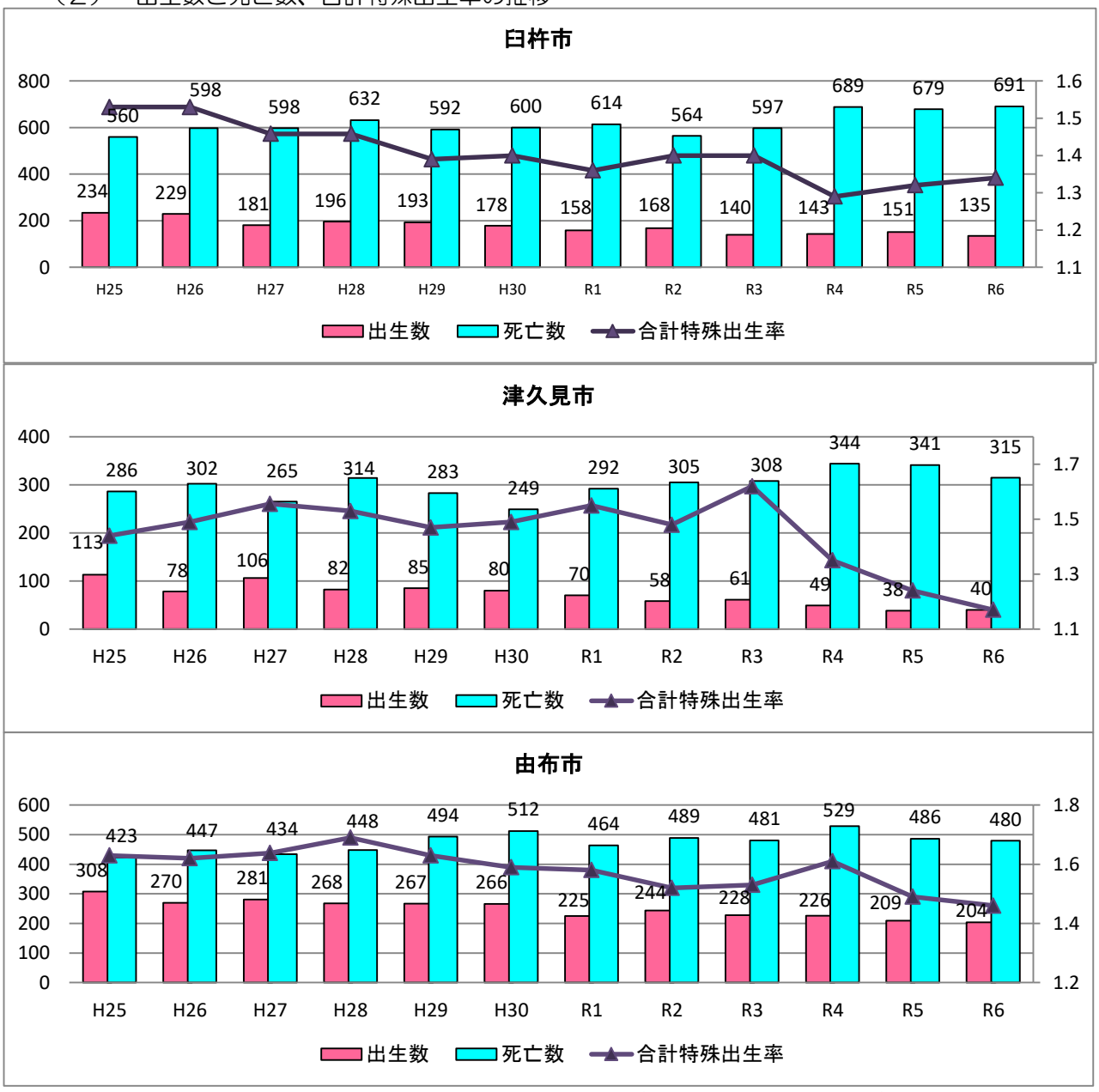
	出生					死亡	
	実数	率（人口千対）	合計特殊出生率	2500g未満（再掲）	出生数に対する2500g未満の出生割合	実数	率（人口千対）
大　分　県	5,957	5.6	1.40	515	8.6	16,789	15.7
管　　内	379	4.8	1.37	33	8.7	1,486	18.8
臼　杵　市	135	4.1	1.34	12	8.9	691	21.0
津久見市	40	2.8	1.17	5	12.5	315	22.1
由　布　市	204	6.4	1.46	16	7.8	480	15.1

資料：厚生労働省「人口動態統計」
管内及び各市の合計特殊出生率は、県福祉保健企画課調べ（令和2年～令和6年の平均値）

「合計特殊出生率」とは、15～49歳の女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が一生の間に産む子どもの数です。人口を維持するためには、2.07以上が必要です。管内及び各市の合計特殊出生率は、当該年を含む前５年間の平均値です。推移は下のグラフをご覧ください。



（２）　出生数と死亡数、合計特殊出生率の推移



資料：厚生労働省「人口動態統計」　合計特殊出生率は県福祉保健企画課調べ（当該年を含む前５年間の平均値）

（３）　主要死因別死亡率（人口10万対）

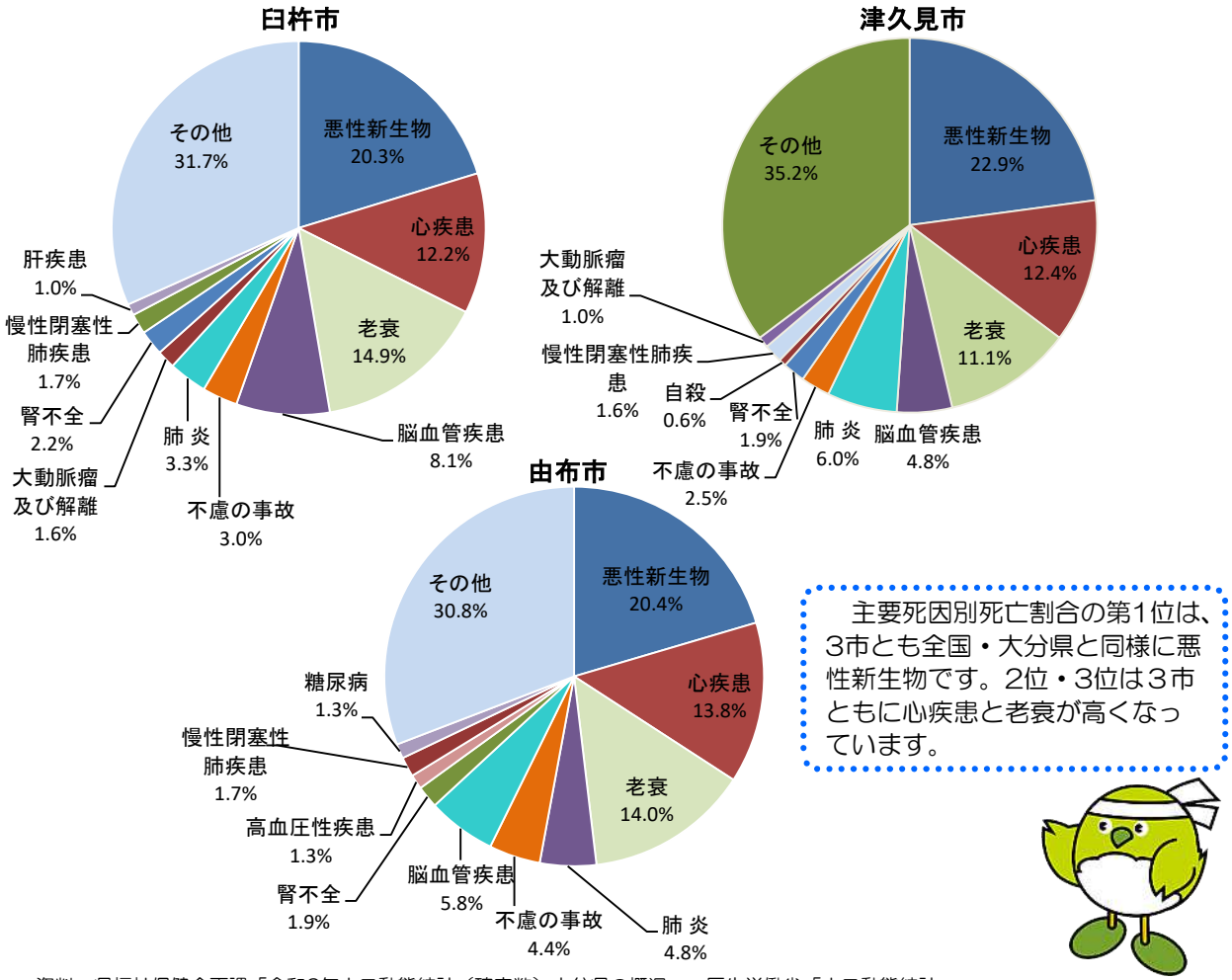
令和6年

	全国※	大分県	管内	臼杵市	津久見市	由布市
総数	1,334.5	1,575.0	1,886.0	2,103.4	2,210.7	1,514.7
悪性新生物	319.3	348.8	393.5	426.2	505.3	309.3
心疾患	188.2	206.4	239.9	255.7	273.7	208.3
老衰	172.0	198.5	260.2	313.5	245.6	211.4
脳血管疾患	85.5	105.3	125.7	170.5	105.3	88.4
肺 炎	66.6	78.1	82.5	70.0	133.3	72.6
不慮の事故	38.0	51.6	63.5	63.9	56.1	66.3
腎不全	24.7	34.7	38.1	45.7	42.1	28.4
自殺	16.3	16.1	17.8	24.4	14.0	12.6
大動脈瘤及び解離	17.0	21.1	24.1	33.5	21.1	15.8
肝疾患	15.7	17.4	20.3	21.3	49.1	6.3
慢性閉塞性肺疾患	13.8	19.1	31.7	36.5	35.1	25.2
糖尿病	12.4	15.2	15.2	15.2	7.0	18.9
高血圧性疾患	9.8	8.5	10.2	6.1	－	18.9
結核	1.2	2.0	1.3	－	－	3.2
喘息	0.9	1.0	1.3	－	7.0	－

資料：県福祉保健企画課「令和6年人口動態統計（確定数）大分県の概況」、厚生労働省「人口動態統計」

表の色が濃い部分ほど、死亡率が高いことを示しています（太枠内の「総数」を除く）。

（４）　主要死因別死亡割合（令和6年）



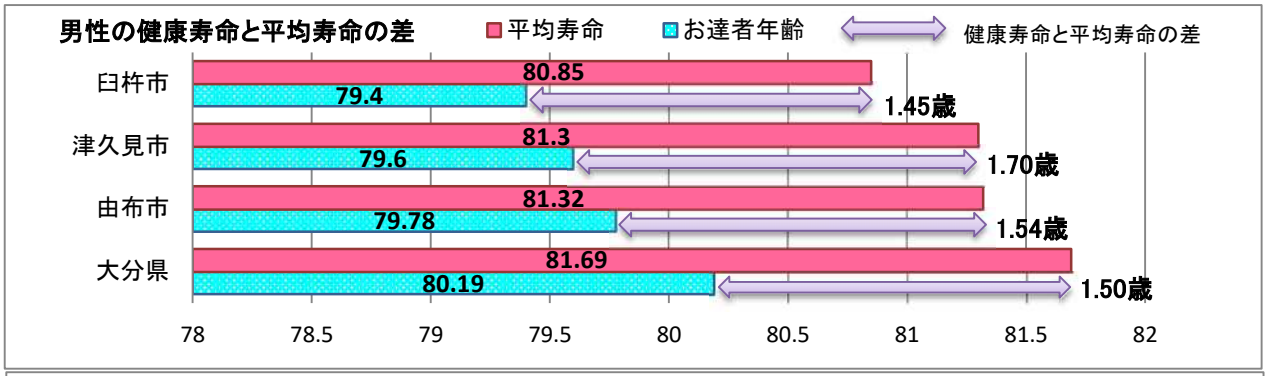
主要死因別死亡割合の第1位は、3市とも全国・大分県と同様に悪性新生物です。2位・3位は3市ともに心疾患と老衰が高くなっています。

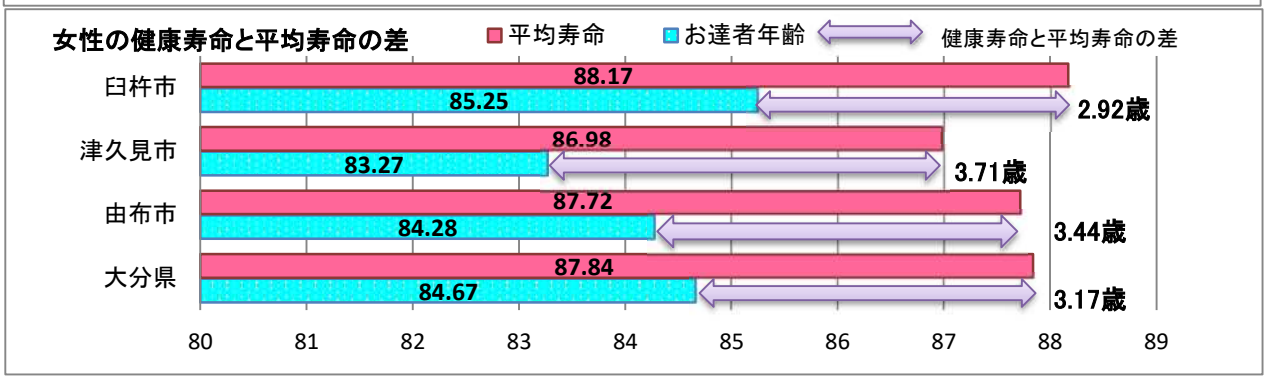
資料：県福祉保健企画課「令和6年人口動態統計（確定数）大分県の概況」、厚生労働省「人口動態統計」

３　平均寿命とお達者年齢　（令和2年～令和6年の平均値）

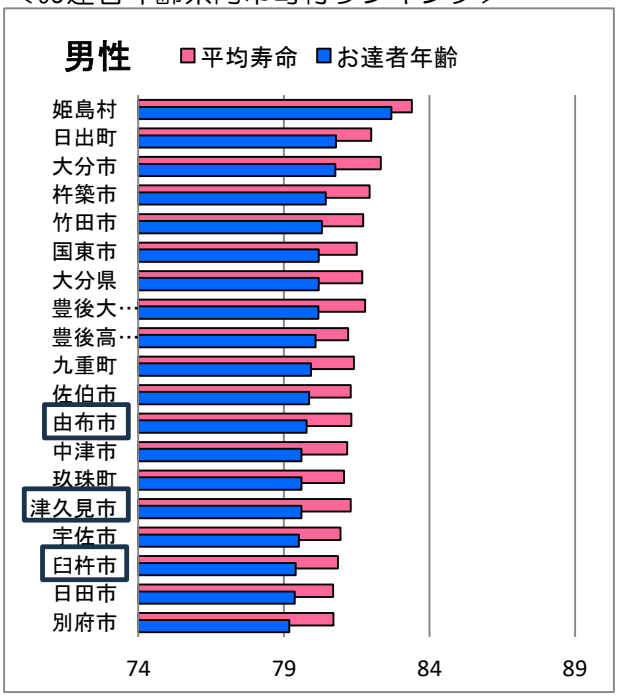
『平均寿命』は、０歳の子どもが何年生きられるかを示すものであり、都道府県の数値は国が５年毎に公表しています。市町村の平均寿命も５年毎に国が算出していますが、大分県では独自に算出（※１）し、毎年公表（※２）しています。
『健康寿命』は、健康で過ごせる期間を示したものです。国が算出する「健康寿命」は、国民生活基礎調査の結果を基に、「日常生活に制限のない期間」を算出したもので、全国値と都道府県の値が３年に１回公表されます。
平均寿命と健康寿命の差は、健康ではない期間を意味するので、この期間をなるべく短くすることが必要です。
市町村では人口規模の小さく、国と同様の調査による「健康寿命」の算出は困難なため、類する指標として
『お達者年齢』（※３）を大分県が毎年公表（※２）しています。

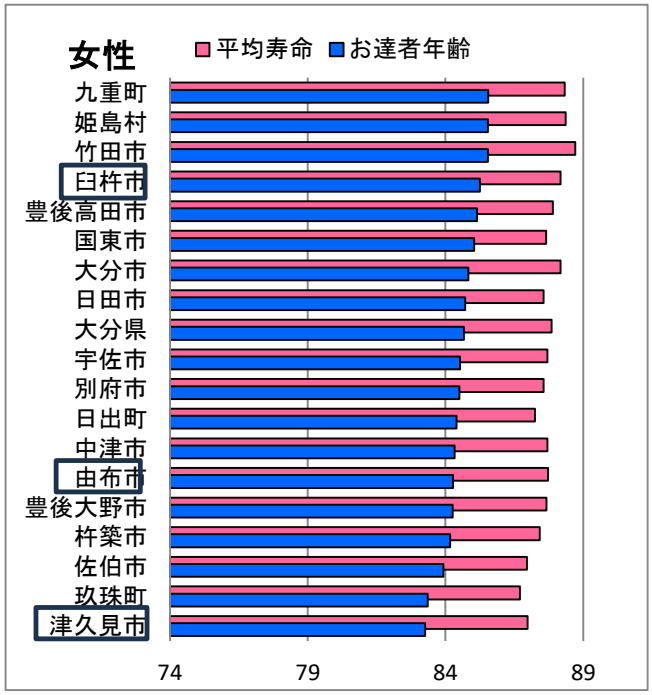
※１　「毎月流動人口調査報告」等から算出
※２　人口規模が小さく単年度では精度が低くなるため、５年間平均値を使用
※３　「要介護２以上に認定を受けていない方」を健康として定義





＜お達者年齢県内市町村ランキング＞





資料：厚生労働省「人口動態調査」「生命表」、県国保連合会「年齢別介護保険認定者数」、県統計調査課「大分県の人推計報告」